

総 合 型 選 拔 試 験

総合型選抜Ⅰ(専願), 総合型選抜Ⅱ(専願), 総合型選抜Ⅲ(併願可)

1. 趣旨

総合型選抜試験は、受験生の学習意欲や熱意・目的意識などを評価する入試制度で、書類審査と口頭試問、実技試験等を中心とした選考を行います。「鹿児島国際大学国際文化学部音楽学科で学びたい」という強い意志を持った人、学術・文化・芸術活動などで優れた実績のある人、資格や能力を持っている人たちにぜひチャレンジしてほしい入試制度です。学ぶ意欲や得意とする分野・才能を大いにアピールしてください。

2. 募集人員

入試区分	募集人員
総合型選抜Ⅰ（専願）	3名
総合型選抜Ⅱ（専願）	2名
総合型選抜Ⅲ（併願可）	1名

※ピアノ演奏家課程・管弦打楽器演奏家課程を志望する場合は、それぞれピアノ課程・管弦打楽器課程を第2志望として出願することができます。

演奏家課程が不合格となっても、成績適当と認めた者は第2志望(課程)での入学を許可します。

3. 出願資格

- (1) 高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者。

4. 試験日程

入試区分	試験日	試験場	集合時間	試験科目・試験時間		
				口頭試問	実技試験	
総合型選抜Ⅰ	10月21日(土)	坂之上 キャンパス	9:00	9:20~	口頭試問終了後~ (注)	
総合型選抜Ⅱ	12月16日(土)					
総合型選抜Ⅲ	3月14日(木)			楽 典	面 接	実技試験
				9:30~10:30	11:00~	面接終了後~ (注)

(注)音源審査を希望する者の実技試験は音源提出による「音源審査」(作曲コース除く)とします。

5. 選考方法

入試区分	選考方法	内 容	時 間	配 点
総合型選抜Ⅰ 総合型選抜Ⅱ	書類審査(自己アピール書, 事前レポート, 調査書)	全体の評定平均値, 出席状況, 学校内外での活動等	—	100点
	口頭試問 (事前レポートの内容を含む)	学習意欲, 専門分野の基礎知識, 将来のビジョン等	20分	100点
	実技試験(注)	※詳細は実技試験曲目一覧を参照	—	演奏家課程 500点 それ以外の課程及びコース 300点
総合型選抜Ⅲ	書類審査(調査書)	全体の評定平均値, 出席状況, 学校内外での活動等	—	50点
	楽 典	音楽理論の基礎的な内容	60分	100点
	面 接	学習意欲, 専門分野に対する関心と積極性等	20分	150点
	実技試験(注)	※詳細は実技試験曲目一覧を参照	—	演奏家課程 500点 それ以外の課程及びコース 300点

(注)音源審査を希望する者の実技試験は、音源提出による「音源審査」(作曲コース除く)とします。

※第2志望制度を希望する者の実技試験については、演奏家課程の実技試験課題曲にて受験、音源審査の場合は、演奏家課程の実技試験課題曲にて演奏を収録してください。

6. 出願手続 (出願はWEB上で情報を入力後、書類を提出)

(1) 出願について

- ① 出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めません。また、出願書類に不足・不備などがある場合は受け付けません。ただし、出願後に住所変更などが生じた場合は直ちに連絡してください。
- ② 総合型選抜Ⅲと大学入学共通テスト利用選抜(後期日程)の併願は可能です。出願の際は、入試区分ごとに書類をそろえて提出してください。

(2) 出願期間及び提出方法

入試区分	出願書類送付期間(必着) WEB操作・振込期間	提出方法
総合型選抜Ⅰ	9月20日(水)～10月4日(水) 9月15日(金)～10月3日(火)	【郵送の場合】 「簡易書留」で郵送してください。締切間際の場合は必ず「簡易書留速達」としてください。
総合型選抜Ⅱ	12月1日(金)～12月7日(木) 11月27日(月)～12月6日(水)	
総合型選抜Ⅲ	2月19日(月)～3月11日(月) 2月19日(月)～3月10日(日)	【窓口持参の場合】 平日9:00～16:30まで、土曜日12:00までに持参してください。

(3) 入学検定料 ※一度納入した入学検定料はお返しできません。

30,000円

7. 出願書類

出 願 書 類	注 意 事 項
志 願 票	WEB出願登録時に発行された「受付番号」と「志願者氏名(カタカナ)」を入力後、印刷してください。 ※出願手続完了後に、受験票を郵送します。受験票が届かない場合は、入試・広報課に電話で問い合わせてください。
受 験 票	
写 真 票	
写 真	縦4cm×横3cmの写真1枚。 出願3ヵ月以内に撮影した、正面・上半身・脱帽のもの。 裏面に氏名を記入後、写真票に貼付してください。
自己アピール書Ⅰ・Ⅱ (総合型選抜Ⅰ・Ⅱのみ)	本学HPから様式をダウンロードし、作成してください。 自筆(黒ボールペン使用)又はPCでの作成も可。
事前レポート (総合型選抜Ⅰ・Ⅱのみ)	本学HPから様式をダウンロードし、作成してください。 自筆(黒ボールペン使用)又はPCでの作成も可。
実技試験カード	本学HPから様式をダウンロードし、作成してください。
楽譜(該当者のみ)	実技試験曲目一覧(P90~P93)を確認し、提出してください。
音源(DVD, メモリカード, USBメモリ) (該当者のみ)	受験生本人の演奏を収録した音源を提出してください。提出にあたっては「DVD音源提出方法」(P96~P97)をよく読み提出してください。 (音源審査希望者のみ。ただし、作曲コースは除く。メモリカード, USBメモリでの提出希望者は、入試・広報課へ問い合わせてください。)
練習室使用申込書 (希望者のみ)	練習室の使用希望者は、本学HPから様式をダウンロードし、作成してください。
調 査 書	文部科学省規定の様式により、出身高等学校長が証明し、厳封したもの。 大学入学資格検定合格者は検定合格成績証明書を、高等学校卒業程度認定試験合格者(見込者)は認定試験合格(見込)成績証明書を提出してください。 (出願3ヵ月以内に発行したもの。)
送 付 ラ ベ ル	本学HPから様式をダウンロードし、市販の封筒(A4サイズ)に貼付してください。
レターパックライト	1枚購入し、真ん中から半分に折って書類と一緒に送付してください。 宛名欄は記入不要です。

※同一学園短期大学部・大学の卒業者(見込者)は、卒業証明書(見込証明書)を提出してください。

8. 事前レポートテーマ ※総合型選抜Ⅰ・Ⅱのみ

テーマ
「国際化における音楽の役割」について、これまでの経験、大学での学び、将来の目標とも関連させながら、あなた自身の考えを述べてください。

※「事前レポート」については、800字以上1600字以内で作成してください。図表や写真を添付することも可能ですが、著作権に配慮し出典を明示してください。

9. 合格発表・入学手続期間

入試区分	合格発表	入学手続期間	
総合型選抜Ⅰ	11月1日(水)	11月1日(水) ↓ 12月8日(金)	【結果通知】 ※結果通知書と、合格者には入学手続に必要な書類を送付します。 ※合否に関する電話等での問い合わせには一切応じません。 ※出身高等学校長宛に合否を通知します。
総合型選抜Ⅱ	12月22日(金)	12月22日(金) ↓ 1月17日(水)	
総合型選抜Ⅲ	3月19日(火)	3月19日(火) ↓ 3月22日(金)	【入学手続】 ※入学手続時納入金の納入及び入学手続書類を提出してください。

10. 入学前課題学習

合格者には「入学前課題学習」を実施します。詳細については別途お知らせいたします。

11. 試験場の下見について

試験日前日の15:00～16:30の間に下見ができます。ただし、建物内部への立入りはできません。
※練習室使用申込者に限り、使用時間帯の立入りを許可します。

12. 練習室の使用について ※申込締切 試験日の前々日 12:30まで(必着)

本学試験場にて実技試験を受験する者は、試験日前日及び試験日当日に本学練習室を使用できます。希望者は、『練習室使用申込書』(本学HPから書式をダウンロードしてください。)をFAX又は郵送にて入試・広報課へ提出してください。出願書類に同封しても構いません。出願書類と別に郵送する場合は、封筒の表に『練習室使用申込書在中』と明記のうえ提出してください。また、締切日間際の場合には速達にてお送りください。

【練習室使用時間】

試験日前日	9:00～16:30まで
試験日当日	8:00～8:50まで

※ただし、試験日前日が日曜・祝日の場合は利用できません。

13. 受験生への注意

- ① 受験票は必ず持参してください。紛失又は忘れた場合は、試験開始までに入試・広報課に申し出てください。
- ② 机の上に受験番号が表示してあります。自分の番号の席に着き、受験票を受験番号シールの横に置いてください。
- ③ 机の上に置けるのは、受験票、黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、時計です。カバンは足元に置いてください。
- ④ 時計やスマートフォン等のアラームは使用できません。また、携帯電話やスマートフォン等は電源を切り、カバンの中に入れてください。
- ⑤ 試験室では、監督者の指示に従ってください。
- ⑥ 問題用紙が配付されても指示があるまでは手を触れないでください。
- ⑦ 解答は黒鉛筆(シャープペンシル可)で記入してください。解答用紙には、必ず受験番号を記入し、氏名は書かないでください。
- ⑧ **試験開始後20分を超える遅刻者は入室できません。**遅刻者は直ちに監督者に申し出てください。
- ⑨ 試験時間の途中で退出することはできません。ただし、試験中に具合が悪くなった場合は、監督者に申し出て指示を受けてください。
- ⑩ 試験終了後、監督者の指示があるまでは退室しないでください。
- ⑪ 配付された問題用紙は、各自で持ち帰ってください。

14. 心身に障がいをもつ入学志願者との事前相談

心身に障がいをもつ者で、受験又は修学上特別な配慮を必要とする者は、できるだけ早めに入試・広報課へ連絡してください。

出願にあたっては、入試・広報課に必ず相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者などとの面談を行います。

15. その他

最新の情報については、本学HPでご確認ください。

インターネット(WEB)出願について

本学では、インターネットを利用した出願手続き(WEB出願)を行っています。各入試区分のWEB操作・振込期間に本学ホームページ上にあるWEB出願サイトからアクセスしてください。



本学ホームページへアクセス

- ・本学ホームページ「入試」の「入試情報：WEB出願」で、入学試験要項を確認します。
- ・「出願手続きはこちら」から手続きサイトへアクセスし、メールアドレスの仮登録を行います。



WEB出願登録

- ・仮登録アドレスに「WEB出願開始URLのお知らせメール」が届きますので、「WEB出願登録」ページにアクセスしてください。
- ・画面に従い、必要事項を入力してください。
- ・出願登録を完了すると「受付番号」(19桁)が表示されます。(受付番号は志願票等の印刷に必要となるので、必ず控えてください。)



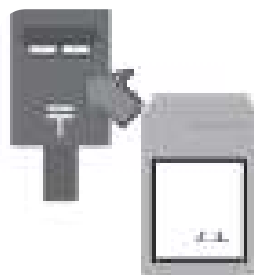
入学検定料の納入

- ・クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easyのいずれかで納入できます。
- ・WEB出願登録の際に「コンビニエンスストア支払い」の場合は「払込票番号」、「銀行で支払う(Pay-easy)」の場合は「お客様番号」が発行されるので、必ず控えてください。
- ・納入はWEB操作・振込期間に必ず済ませてください。
- ・納入後に志願票・受験票・写真票等の印刷ができます。



志願票・受験票・写真票等の印刷

- ・入学検定料納入後に送信される「申し込み手続き完了メール」に記載されたURLから志願票等印刷フォームへアクセスできます。
- ・「受付番号」(19桁)「志願者氏名(カタカナ)」を入力後、志願票・受験票・写真票と、送付ラベルを印刷します。



出願書類の郵送

各入試区分の出願書類送付期間に、印刷した書類と調査書等の必要書類、レターパックライト 1 枚(真ん中から半分に折る。)を、送付ラベルを貼付した封筒(市販の封筒A4サイズ)に入れて郵送します。

書類を郵送したら、出願手続き完了となります。

実技試験曲目一覧

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。
また、ピアノ課程及びピアノ演奏家課程の受験生は、各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。

ピ ア ノ	
ピアノ課程 ・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 ・帰国子女入学試験	任意の自由曲1曲を演奏すること。(暗譜) ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
ピアノ課程 ・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜 (前期日程・後期日程)	下記のA又はBより任意の1曲と、C. 自由曲1曲の計2曲を演奏すること。(暗譜) A. 下記練習曲集より任意の1曲 Chopin, Clementi, Cramer-Bülöw, Czerny, Moscheles, Moszkowski B. 下記曲集より任意の1曲 Bach インヴェンションとシンフォニア、又は平均律曲集第1巻及び第2巻よりフーガのみ。 C. 自由曲1曲 ソナタ、組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
ピアノ演奏家課程	下記のABC計4～5曲を演奏すること。(暗譜) A. 下記練習曲集より任意の2曲 Chopin練習曲集op.10, 25より任意の2曲。 ただし、op.10-3, 6 op.25-2, 7は除く。 B. 下記曲集より任意の1曲 Bach 平均律曲集第1巻、第2巻より任意の1曲。 ただし、第1巻10番BWV.855は除く。 C. 自由曲1～2曲 ソナタ、組曲からの抜粋は可。ヴァリエーションの抜粋は不可。 ※任意に選んだ楽曲の演奏時間が、曲間を含まずに必ず合計で15分以上となるように選曲し、暗譜で演奏すること。演奏順序は各自で決定して良い。楽曲の一部省略などはしてはならない。繰り返しはしなくてよい。 ※楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
管 弦 打 楽 器	
管弦打楽器課程	練習曲又は独奏曲より任意の1曲を5分程度以内で演奏すること。 暗譜でなくてよい。 受験上の注意 (注①) 各楽器共、無伴奏で演奏すること。 (注②) 試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 (注③) 各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
管弦打楽器演奏家課程	専攻楽器別課題曲一覧を参照のうえ、演奏すること。 受験上の注意 (注①) 各楽器共、無伴奏で演奏すること。 (注②) 試験曲の楽譜を提出すること。 (注③) 各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。 なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。

声 楽																																														
声楽コース ・総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ・学校推薦型選抜B・C ・大学入学共通テスト 利用選抜(後期日程) 社会人入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 外国人留学生入学試験Ⅰ期・Ⅱ期 帰国子女入学試験	自由曲2曲(暗譜) ・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏者用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。																																													
声楽コース ・一般選抜 ・大学入学共通テスト 利用選抜(前期日程)	下記のA. 課題曲より1曲と、B. 自由曲1曲の計2曲を演奏すること。(暗譜)																																													
	A. 課題曲 <table><tr><td>1. Star vicino</td><td>(S.Rosa)</td><td>A-Dur</td></tr><tr><td>2. Sento nel core</td><td>(A.Scarlatti)</td><td>f-moll</td></tr><tr><td>3. Se tu della mia morte</td><td>(A.Scarlatti)</td><td>f-moll</td></tr><tr><td>4. Caro laccio</td><td>(F.Gasparini)</td><td>Es-Dur</td></tr><tr><td>5. Lasciar d'amarti</td><td>(F.Gasparini)</td><td>f-moll</td></tr><tr><td>6. Sebben, crudele</td><td>(A.Caldara)</td><td>d-moll</td></tr><tr><td>7. Per la gloria d'adorarvi</td><td>(G.B.Bononcini)</td><td>F-Dur</td></tr><tr><td>8. Vergin, tutto amor</td><td>(F.Durante)</td><td>c-moll</td></tr><tr><td>9. Nina</td><td>(G.B.Pergolesi)</td><td>e-moll</td></tr><tr><td>10. Nel cor più non mi sento</td><td>(G.Paisiello)</td><td>F-Dur</td></tr><tr><td>11. 浜辺の歌</td><td>(成田為三)</td><td>As-Dur</td></tr><tr><td>12. さくら横ちょう</td><td>(中田喜直)</td><td>b-moll</td></tr><tr><td>13. 浜千鳥</td><td>(弘田龍太郎)</td><td>Es-Dur</td></tr><tr><td>14. かやの木山の</td><td>(山田耕筈)</td><td>D-Dur</td></tr><tr><td>15. 荒城の月</td><td>(滝廉太郎)</td><td>d-moll</td></tr></table> B. 自由曲 ※自由曲については、上記A. 課題曲の中からの選曲も可とする。 受験上の注意 (注①) 伴奏者は、本学で用意する。 (注②) 伴奏用楽譜については、下記のとおりとする。 ・自由曲の伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 (自由曲を課題曲から選択し、調を変更しない場合は伴奏用楽譜の提出は不要) ・課題曲についても、指定された調以外で歌う場合は、伴奏用楽譜を必ず提出すること。		1. Star vicino	(S.Rosa)	A-Dur	2. Sento nel core	(A.Scarlatti)	f-moll	3. Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)	f-moll	4. Caro laccio	(F.Gasparini)	Es-Dur	5. Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)	f-moll	6. Sebben, crudele	(A.Caldara)	d-moll	7. Per la gloria d'adorarvi	(G.B.Bononcini)	F-Dur	8. Vergin, tutto amor	(F.Durante)	c-moll	9. Nina	(G.B.Pergolesi)	e-moll	10. Nel cor più non mi sento	(G.Paisiello)	F-Dur	11. 浜辺の歌	(成田為三)	As-Dur	12. さくら横ちょう	(中田喜直)	b-moll	13. 浜千鳥	(弘田龍太郎)	Es-Dur	14. かやの木山の	(山田耕筈)	D-Dur	15. 荒城の月	(滝廉太郎)
1. Star vicino	(S.Rosa)	A-Dur																																												
2. Sento nel core	(A.Scarlatti)	f-moll																																												
3. Se tu della mia morte	(A.Scarlatti)	f-moll																																												
4. Caro laccio	(F.Gasparini)	Es-Dur																																												
5. Lasciar d'amarti	(F.Gasparini)	f-moll																																												
6. Sebben, crudele	(A.Caldara)	d-moll																																												
7. Per la gloria d'adorarvi	(G.B.Bononcini)	F-Dur																																												
8. Vergin, tutto amor	(F.Durante)	c-moll																																												
9. Nina	(G.B.Pergolesi)	e-moll																																												
10. Nel cor più non mi sento	(G.Paisiello)	F-Dur																																												
11. 浜辺の歌	(成田為三)	As-Dur																																												
12. さくら横ちょう	(中田喜直)	b-moll																																												
13. 浜千鳥	(弘田龍太郎)	Es-Dur																																												
14. かやの木山の	(山田耕筈)	D-Dur																																												
15. 荒城の月	(滝廉太郎)	d-moll																																												
作 曲																																														
作曲コース	下記の課題A・Bによる出題 (60分) A. モチーフによる作曲 B. 和声(バス課題)																																													

専攻楽器別課題曲一覧

＜管弦打楽器演奏家課程＞共通事項

- ※スケールのうち短調は和声的短音階で演奏すること。但し楽譜が指定されている楽器については、楽譜のとおり演奏すること。速度はモデラート。
- ※暗譜を指定している楽器以外は暗譜でなくてよい。
- ※各楽器とも、無伴奏で演奏すること。

フルート

- ①スケール：＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②次のa)～c)のいずれか1曲を選択すること。
 - a) W. A. Mozart：《Flute Concerto No. 1 in G Major》（K. 313）より第1楽章（カデンツァは除く）
 - b) W. A. Mozart：《Flute Concerto No. 2 in D Major》（K. 314）より第1楽章（カデンツァは除く）
 - c) C. Stamitz：《Flute Concerto in G Major》（Op. 29）より第1楽章（カデンツァは除く）

オーボエ

- ①スケール：＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ② L. Wiedemann：《45 Etüden für Oboe》より第9番と第12番

クラリネット

- ①スケール：R. Eichlerの《Scales for Clarinet》より＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを演奏すること。
- ② C. Rose：《32 Etudes》第11番～第16番より任意の2曲
- ③ C. M. von Weber：《Concertino》（Op. 26）

バスクラリネット

- ①スケール：＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②練習曲または独奏曲より任意の1曲

ファゴット

- ①スケール：＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② J. Weissenborn：《Bassoon Studies II 第2巻》より第4番、第6番、第9番、第13番から任意の1曲

サクソフォーン

- ①スケール：《サクソフォーンのためのトレーニングブック》（須川展也編／音楽之友社）p. 51～52より、＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② M. M. Ferling：《Quarante-Huit Études》（48の練習曲）より第1番と第2番

リコーダー

- ① F. Brüggen：《5 Etudes voor Vingerveiligheid》（Broekmans & von Poppel Amsterdam出版）より第1番
- ② G. P. Telemann：《12 Fantasias for Flute solo》より第7番（アルトリコーダーで短3度高く移調して演奏すること）

トランペット

- ①スケール：＃ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② J. B. Arban：《金管教則本第2巻》より《12 Celebrated Fantasies and Airs Varies》第3番（Fantasie Brillante）の中からイントロとテーマ

ホルン

- ①B dur, C dur, D dur, b moll, c moll, d mollから、長調・短調よりそれぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ②次のa), b)のいずれか1曲を選択すること。
 - a) W. A. Mozart：《Horn Concerto No. 1 in D Major》（K. 412）より第1楽章
 - b) W. A. Mozart：《Horn Concerto No. 3 in E-flat Major》（K. 447）より第1楽章（カデンツァは除く）

トロンボーン

- ①スケール：＃ ｂ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② J. Rochut：《Melodious Etudes for Trombone Book 1》（C. Fischer出版）より第5番
- ③ F. Gräfe：《Concerto》よりSoloの始まりからThemaの20小節前まで
※この楽譜について、入手困難な場合には入試・広報課までお問い合わせください。

バストロンボーン

- ①スケール：＃ ｂ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②練習曲または独奏曲より任意の1曲

ユーフォニアム

- ①スケール：《JBCバンドスタディ パートブック ユーフォニアム》（アルソ出版）p. 32～33より、＃ ｂ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、2オクターブで演奏すること。
- ② G. Kopprasch：《60 selected studies for Tuba Book 1》より第11番、第14番、第22番から任意の1曲。繰り返しを除く。
- ③ J. Rochut：《Melodious Etudes for Trombone Book 1》（C. Fischer出版）より第15番

チューバ

- ①スケール：＃ ｂ 3つまでの長短両調から、それぞれ1つ当日指定されたものを、1オクターブで演奏すること。
- ②次のa), b) のいずれかの練習曲集より任意の1曲を選択すること。
 - a) C. Kopprasch《Sixty selected studies for Trombone》（Robert King出版）
 - b) G. M. Bordogni作曲, W. Jacobs編集《Complete Vocalises for Tuba》（Encore Music出版）
（※43 Bel Canto Studies for Tuba Robert King出版も可）

ヴァイオリン

- ①スケール：次のa), b) について、任意の調性を選択し、演奏すること。
 - a) C. Flesch《Scale System》より第5番の冒頭12小節
 - b) 小野アンナ《音階教本》（音楽之友社）より3度とオクターブ
(
 - ・ a), b) とともにスラーはなし。
 - ・ 全てレガートとする。
 - ・ 指使いは自由。)
- ②ロマン派以降の任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

ヴィオラ

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

チェロ

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

コントラバス

- ①任意の協奏曲より第1楽章（カデンツァは除く）

ギター（暗譜）

- 次のa), b) のいずれか1曲を選択すること。
- a) F. Sor：《Etudes》（Op. 31）より第1番
 - b) J. K. Mertz：《Bardenklänge》（Op. 13）より〈tarantella〉

ハープ（暗譜、繰り返しを除く）

- ①スケール：Es durを2オクターブで演奏すること。
- ② F. J. Naderman：《7 Sonatas progressives》より任意の1曲（全楽章）
- ③任意の独奏曲1曲

打楽器（暗譜、次のA・Bいずれかを選択）

A. スネアドラム

- ①練習曲または独奏曲より任意の1曲
- ② M. Goldenberg：《Modern School for Snare Drum》（Chappell出版）p. 46～51から任意の1曲

B. マリンバ

- ①練習曲または独奏曲より任意の1曲
- ② M. Goldenberg：《Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone》（Chappell出版）p. 64～73より任意の1曲

実技試験課題一覧

■ HONORS 特待生入学試験

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲10分程度 〈暗譜〉	・曲数に制限なし。(ただし、10分程度とする。繰り返しは省略すること) ・各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。 ・すべての楽曲の楽譜のコピーを提出すること。
管弦打楽器	自由曲10分程度 〈暗譜でなくてよい〉	・各楽器共、無伴奏で演奏すること。 ・試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 ・譜面台は本学で用意する。 ・各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲2曲 〈暗譜〉	・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。
作曲	<u>A. 作品提出</u> 自作品1曲の楽譜提出 (コピー楽譜可) <u>B. 口頭試問</u> 提出作品に関する試問 (15分程度)	・作品の形態、楽器編成、所要時間等は自由とする。

■ 編入学試験(第2年次・第3年次共通)

すべてのコース・課程において、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。

専攻	実技試験内容	受験上の注意
ピアノ	自由曲(10分以内) 〈暗譜〉	・曲数に制限なし。(ただし、10分以内とする。繰り返しは省略すること) ・各試験曲の演奏時間を、実技試験カードに記入すること。 ・楽曲により、楽譜のコピー提示を求める場合は、後日直接受験生に連絡する。
管弦打楽器	自由曲1曲(7分以内) 〈暗譜でなくてよい〉	・各楽器共、無伴奏で演奏すること。 ・試験曲の楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。 ・譜面台は本学で用意する。 ・各自、楽器を持参すること。 ただし、やむを得ず楽器を持参できない場合には、実技試験カードの楽器借用欄の「要」に○印をつけること。なお、打楽器の受験生は、各自スティックを持参すること。
声楽	自由曲2曲(10分以内) 〈暗譜〉	・伴奏者は本学で用意する。 ・伴奏用楽譜を(変更やカットを含み、記入事項があれば記入して)提出すること。
作曲	和声 バス課題(60分)	・近親転調を含む16小節程度のバス課題を出題する。

作曲・和声 問題例

I 次の動機の中から一つを選び、12～16小節程度の旋律を作りなさい。
(速度記号，強弱記号，スラー等も記入のこと。)

1.



2.



3.



II 次のバス課題を四声体で実施しなさい。



実技試験：「音源審査」におけるDVD音源提出方法について

(1) 実技試験が「音源審査」となる入試区分及び試験場（作曲コース以外）

HONORS 特待生入学試験を除く、実技試験を実施する全ての入試区分で、希望する場合は「音源審査」を実施する。ただし、作曲コースについては、「音源審査」は行わず、本学試験場及び学外試験場において実技試験を実施する。

※実技試験内容などの詳細は実技試験曲目一覧を参照。

管弦打楽器の受験生は、試験曲の楽譜を（変更やカットを含み、記入事項があれば記入して）提出すること。

(2) 「音源審査」におけるDVD提出について

音源提出にあたっては、下記事項を十分熟読のうえ、正しく提出すること。

A. DVD音源提出要領

提出の形態	作成上の注意	作成時期	提出部数
DVD-R	①実技試験曲目一覧を確認のうえ、実技試験カードに記入した曲目順に、課題曲の演奏を収録すること。 ②演奏を撮影する場所などについては特に定めない。 ③管弦打楽器の受験生については、無伴奏とする。なお、声楽コースの受験生については、必ずピアノ伴奏をつけたうえで演奏を収録すること。 ④DVD-Rに標準モードで収録すること。 ⑤DVD-Rの表面とケースに『入試区分』、『氏名』、『出身高等学校名』、志望する『コース・課程』、『楽器名』又は『声種』、『演奏曲目』をそれぞれ記入すること。 （※記入方法など詳細は「B. DVD表面・ケースへの記入事項について」を参照） ⑥受験生本人の演奏を収録すること。 ⑦映像の冒頭に受験生本人（演奏者）の上半身アップ（正面）を5秒間、必ず収録すること。また、演奏時における受験生本人（演奏者）の顔が判別でき、手元などがよく見えるように収録すること。 ⑧収録は、始めから終わりまで、すべてを通して行うこと。 ※上半身アップから全試験曲を演奏し終えるまで、収録を止めてはならない。 ⑨DVD-Rに記録する際は、PC以外の機器で視聴出来るよう、必ず互換性を維持すること。 ⑩収録したDVD-Rについては、画質、音質などを必ず確認のうえ、提出すること。 ⑪提出にあたっては、破損に十分留意し、適宜エアークションなどで梱包のうえ、出願書類とともに提出すること。 ⑫提出された、DVD音源については、一切返却しない。	出願前3ヵ月以内の演奏とする。	DVD-R 1枚

B. DVD表面・ケースへの記入事項について

「音源提出」にあたっては、受験生本人の演奏を収録したDVD-R(1枚)のDVD表面及びケースに必要な事項を必ず明記のうえ、提出すること。(以下の記入例参照)



DVD表面：記入例①

(入試区分)：一般選抜
(氏名)：津曲 太郎
(出身高等学校名)：国際高等学校

DVD表面：記入例②

(コース・課程)：器楽コース管弦打楽器課程
(楽器名)：フルート
(演奏曲目)：シャミナード：コンチェルティーノ op.107

ケース：記入例

(入試区分)：一般選抜
(コース・課程)：器楽コース管弦打楽器課程 (楽器名)：フルート
(氏名)：津曲 太郎 (出身高等学校名)：国際高等学校

参考 表記について

コース・課程	「楽器名」又は「声種」
器楽コース ピアノ課程 器楽コース ピアノ演奏家課程	ピアノ
器楽コース 管弦打楽器課程 器楽コース 管弦打楽器演奏家課程	主専攻とする楽器名
声楽コース	ソプラノ メゾ・ソプラノ アルト テノール バリトン バス

※メモリカード、USBメモリで提出希望の方は、入試・広報課へお問い合わせください。

「実技試験カード」の記入方法について

共 通 事 項

- ① 実技試験カードは、「ピアノ課程／管弦打楽器課程／声楽コース」・「ピアノ演奏家課程／管弦打楽器演奏家課程」用の2種類ありますので、受験するコース・課程用の本学所定の用紙を用い、記入すること。
※音源提出による「音源審査」の場合でも、同様に必要事項を記入し、音源とともに提出すること。
- ② 演奏順序については、実技試験カードに記入した曲目順に演奏すること。記入の際は、実技試験曲目一覧を参照のうえ、記入すること。
- ③ **出願後の志望コース・課程及び実技試験曲目などの変更は一切認めないので、十分注意すること。**

管弦打楽器受験生の留意事項

- ① 実技試験カードの楽器名欄に楽器を記入したうえで、当日やむを得ず楽器を持参できない場合には、借用欄の「要」に○印をつけること。
- ② 譜面台は、本学で準備する。なお、当日楽譜を見て演奏する受験生は楽譜を忘れないように十分注意すること。
- ③ 管弦打楽器演奏家課程の受験生の記入にあたっては、専攻楽器別課題曲一覧のならびを参照のうえ、**スケールのある楽器の受験生については、スケール欄へ演奏する任意の調をそれぞれ記入し、スケール以外の課題曲については、実技試験カードの①②③の各欄にそれぞれ正しく記入すること。**